【パターン2のバージョンアップ操作の流れ】

① 事前準備する。

↓

② ひかり電話オフィスタイプ対応VoIPアダプタ（VG）の最新ファームウェアを、パソコンにダウンロードする。

↓

③ パソコンからISP向けに設定したPPPoE接続を切断する。

↓

④ パソコンをひかり電話オフィスタイプ対応VoIPアダプタ（VG）のLANポートに接続する。

↓

⑤ ひかり電話オフィスタイプ対応VoIPアダプタ（VG）にログインするために、パソコンの設定を変更する。（必要な場合のみ実施）

↓

⑥ ひかり電話オフィスタイプ対応VoIPアダプタ（VG）にログインし、最新ファームウェアにバージョンアップする。

↓

⑦ パソコンをCTUのLANポート（元の位置）に接続する。

↓

⑧ ⑤で変更したパソコンの設定を元に戻す。（⑤で変更した場合のみ実施）

バージョンアップ操作の流れは、以上です。

①　事前準備する。

●バージョンアップ操作を行う前に、次の準備を行います。

（①-1）
ひかり電話オフィスタイプ対応VoIPアダプタ（VG）にログインするための
『パスワード』を用意します。
※『パスワード』の初期値は、「user」です。

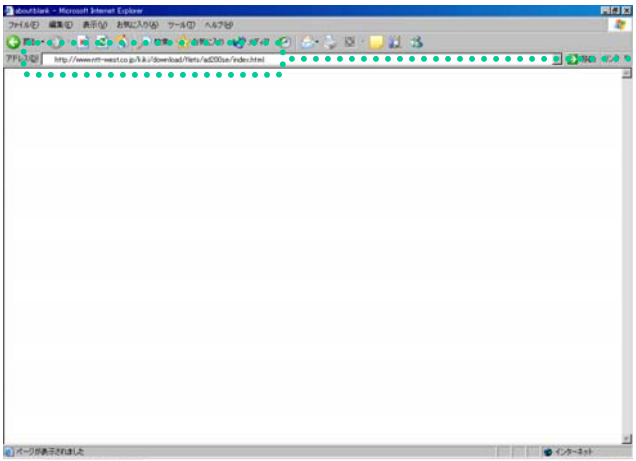
（①-2）
パソコンから、ISP向けにPPPoE接続を行います。
※PPPoEの接続方法は、お使いのPPPoE接続ソフトの取扱説明書等をご覧ください。

（①-3）
メモ用紙と筆記用具を用意します。

（①-4）
ひかり電話オフィスタイプ対応VoIPアダプタ（VG）の取扱説明書を用意します。
※お使いのパソコンのOSがWindows XP以外の場合に必要となります。

（①-5）
本紙をパソコンにダウンロードします。
※操作手順②以降は、ダウンロードしたファイルをご覧いただきながら進めてください。

② ひかり電話オフィスタイプ対応VoIPアダプタ（VG）の最新ファームウェアを、パソコンにダウンロードする。



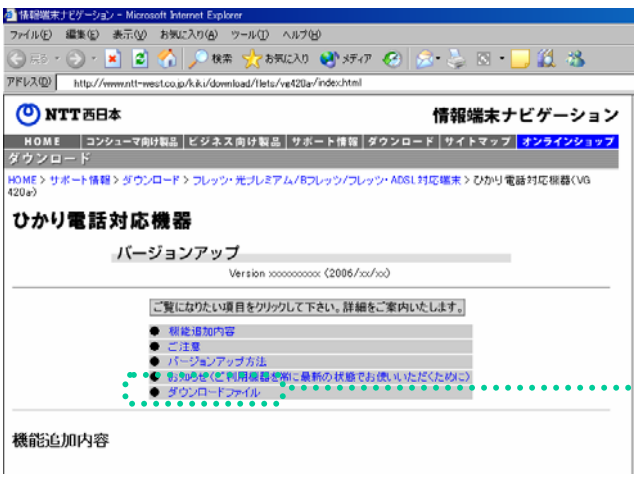
（②-1）
ブロードバンドルータ等に接続したパソコンでWebブラウザを起動し、アドレスを入力する欄に次のように入力します。

http://www.ntt-west.co.jp/kiki/download/flets/{ご利用の機種名}/index.html

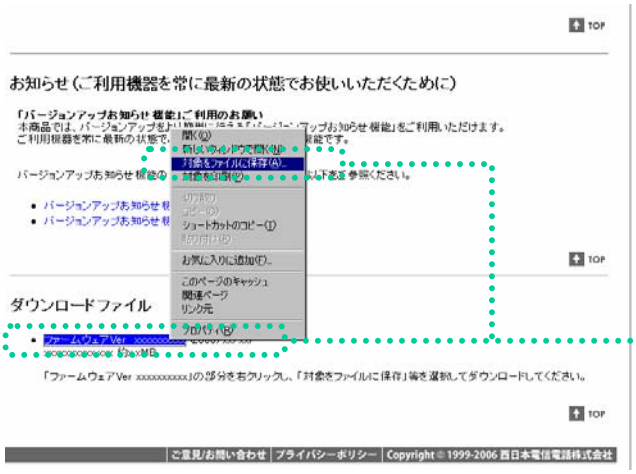
（注意）
{ご利用の機種名}には、ご利用の機種によって次のとおり入力します。

（VG420aの場合）･･･ vg420a
（VG820aの場合）･･･ vg820a
（VG420iの場合）･･･ vg420i
（VG820iの場合）･･･ vg820i

以降の画面表示は、VG420aのものです。



（②-2）
『ダウンロードファイル』をクリックします。



（②-3）
『ファームウェアVer xxxxxxxxxx』の部分を右クリックし、『対象をファイルに保存』を選択します。

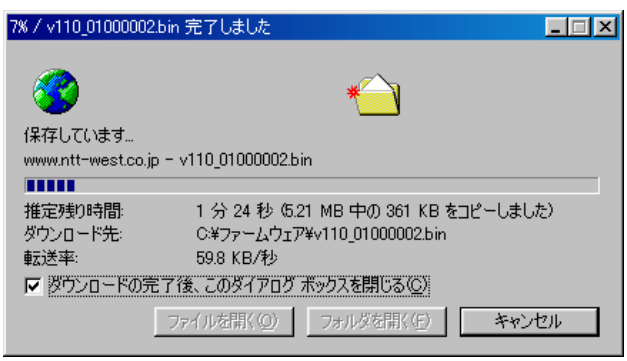
（注意）
「ファームウェアVer xxxxxxxxxx」の「xxxxxxxxxx」の部分をメモしてください。後ほど、バージョンアップが正常に完了したことを確認する際に必要になります。

（②-4）
「保存する場所」でダウンロード先のフォルダを選択します。選択したフォルダ名をメモします。

（注意）
左図の場合、「フォルダ名」は“ファームウェア”となります。

（②-5）
表示されたファイル名をメモし、『保存』をクリックします。

（注意）
左図の場合、「ファイル名」は“vg420a_xxxxxxxxxx”となります。なお、表示内容は実際と異なる場合があります。



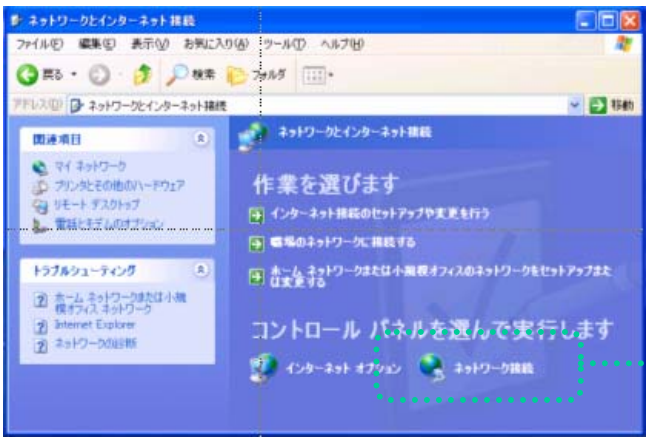
（②-6）
ダウンロード中は左の画面が表示されます。ダウンロードが完了するまで、しばらくお待ちください。

（注意）
左図の表示内容は、ファームウェアのバージョンやダウンロード先のフォルダによって、実際と異なる場合があります。

③ パソコンからISP向けに設定したPPPoE接続を切断する。

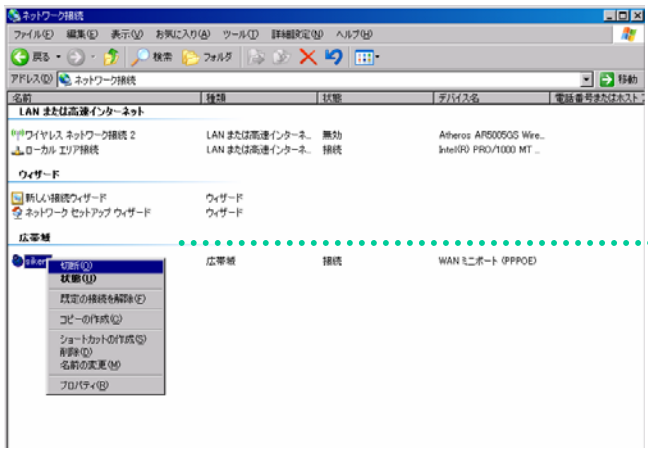
●（③-1）～（③-4）の操作手順および画面表示は、Windows XPに標準添付されたPPPoE接続ソフトをご利用の場合です。

●その他のPPPoE接続ソフトをご利用の場合、お使いのPPPoE接続ソフトの取扱説明書を参考にPPPoE接続を切断してください。切断後、（④-1）から操作を続けてください。



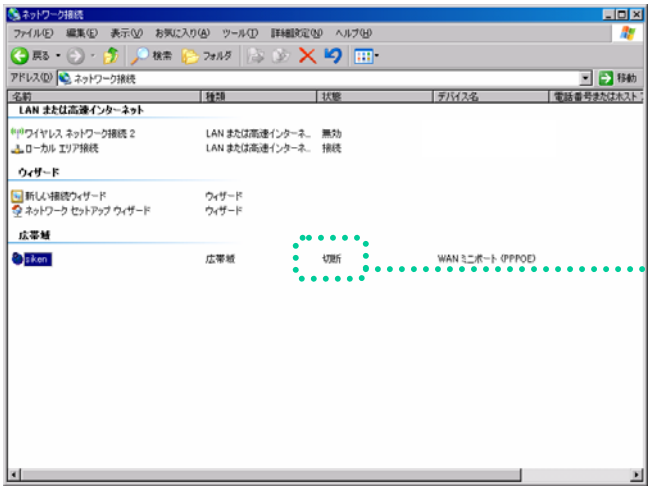
（③-1）
『スタート』ー『コントロールパネル』を選択し、『ネットワークとインターネット接続』をクリックします。

（③-2）
『ネットワーク接続』をクリックします。



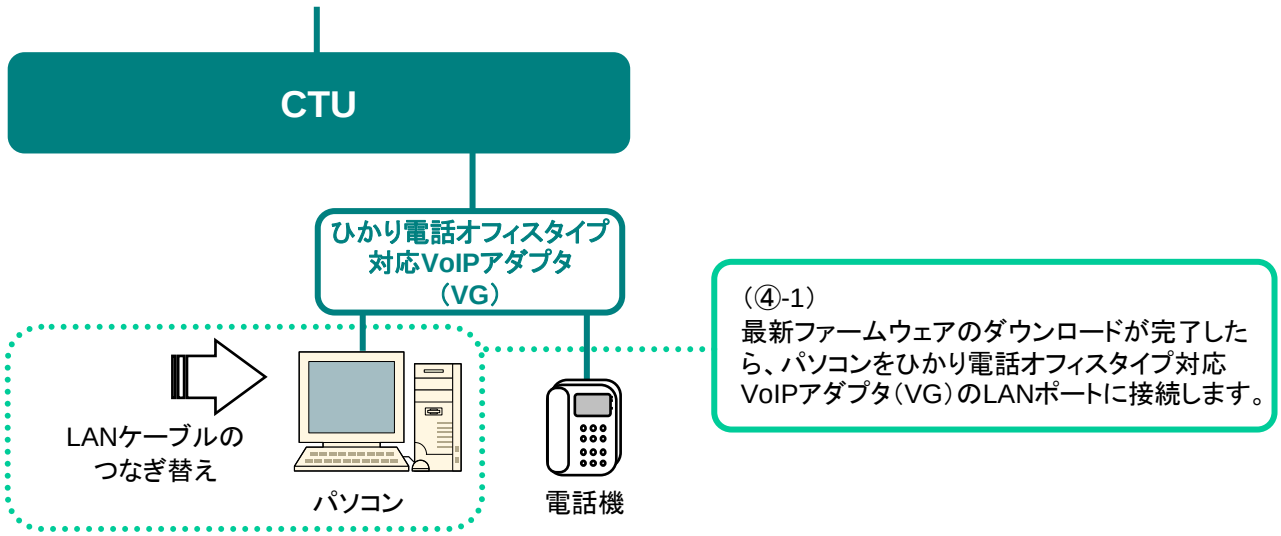
（③-3）
「広帯域」でISP接続用のアイコンを右クリックし、『切断』を選択します。

（注意）
左図の表示内容は、お客さまの設定によって、実際と異なる場合があります。



（③-4）
「状態」が『切断』になっていることを確認します。

④ パソコンをひかり電話オフィスタイプ対応VoIPアダプタ（VG）のLANポートに接続する。



⑤ ひかり電話オフィスタイプ対応VoIPアダプタ（VG）にログインするために、パソコンの設定を変更する。（必要な場合のみ実施）

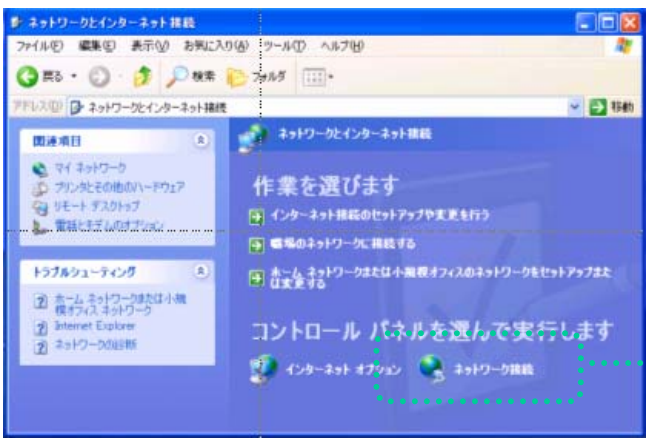
Ⅰ．パソコンの「IPアドレス」や「DNSサーバーのアドレス」を固定的に設定している場合は、（⑤-1）～（⑤-7）の操作を行ってください。

Ⅱ．パソコンの「ダイヤルアップと仮想プライベート　ネットワークの設定」で、「ダイヤルする」を選択している場合は、（⑤-8）～（⑤-10）の操作を行ってください。

上記以外の場合は、（⑤-1）～（⑤-10）の操作は不要です。（⑥-1）から操作を続けてください。

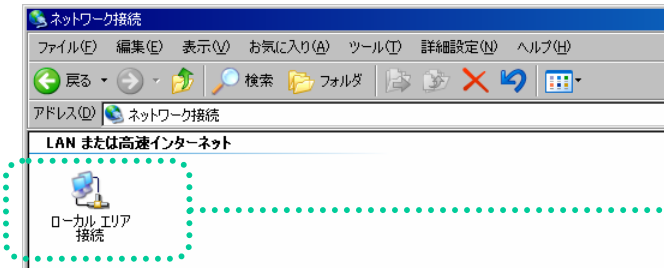
●（⑤-1）～（⑤-10）の操作手順および画面表示は、Windows XPの場合です。「コンピュータの管理者」（または同等の権限を持つユーザ）でパソコンにログオンしてから、（⑤-1）～（⑤-10）の操作を行ってください。

●Windows XP以外のOSをお使いの場合、「Netcommunity　VG420/820 取扱説明書」の「第3章」をご覧いただき、ひかり電話オフィスタイプ対応VoIPアダプタ（VG）にログインするための設定を行ってください。



（⑤-1）
『スタート』ー『コントロールパネル』を選択し、『ネットワークとインターネット接続』をクリックします。

（⑤-2）
『ネットワーク接続』をクリックします。

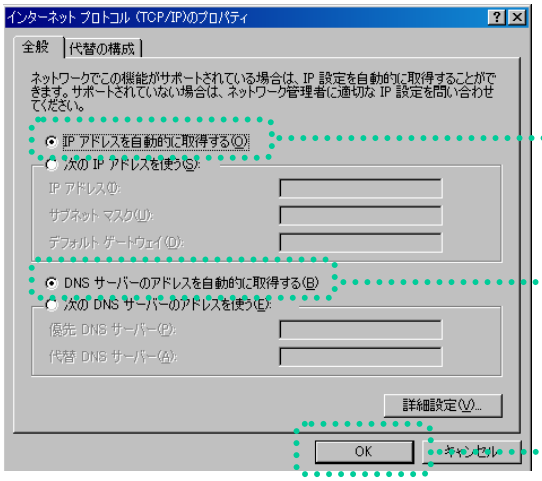


（⑤-3）
『ローカルエリア接続』を右クリックし、『プロパティ』をクリックします。

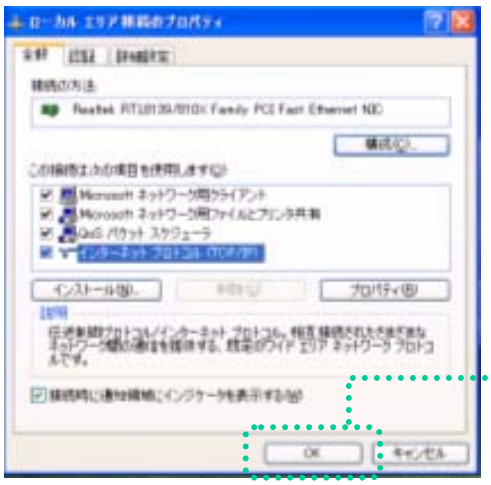
（⑤-4）
「全般」の画面で『インターネットプロトコル（TCP/IP）』を選択し、『プロパティ』をクリックします。

（⑤-5）
『次のIPアドレスを使う』や『次のDNSサーバーのアドレスを使う』が選択されている場合、設定内容をメモを取るなどして記録します。

（注意）
●左図は一例です。表示内容は、実際と異なる場合があります。
●メモは、バージョンアップ終了後、パソコンの設定を元に戻す際に必要となります。



（⑤-6）
『IPアドレスを自動的に取得する』、『DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する』を選択し、『OK』をクリックします。



（⑤-7）
『OK』をクリックします。

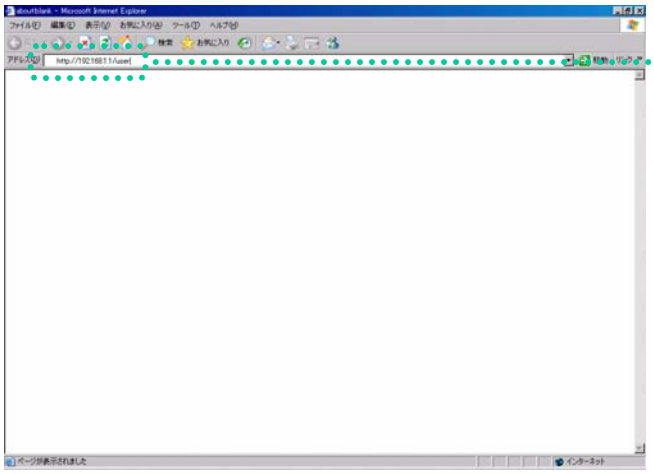
（⑤-8）
次に『スタート』―『コントロールパネル』を選択し、『ネットワークとインターネット接続』をクリックします。

（⑤-9）
『インターネットオプション』をクリックします。

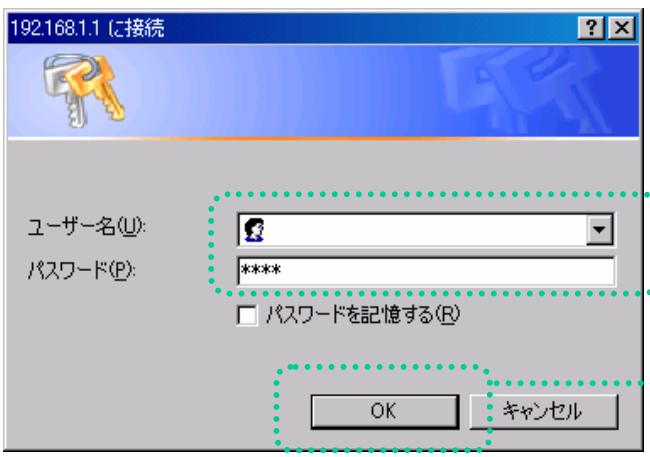
（⑤-10）
『接続』タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は『ダイヤルしない』を選択し、『OK』をクリックします。

（注意）
『ダイヤルしない』以外が設定されていた場合、その設定内容をメモします。メモは、バージョンアップ終了後、パソコンの設定を元に戻す際に必要になります。

⑥ ひかり電話オフィスタイプ対応VoIPアダプタ（VG）にログインし、最新ファームウェアにバージョンアップする。

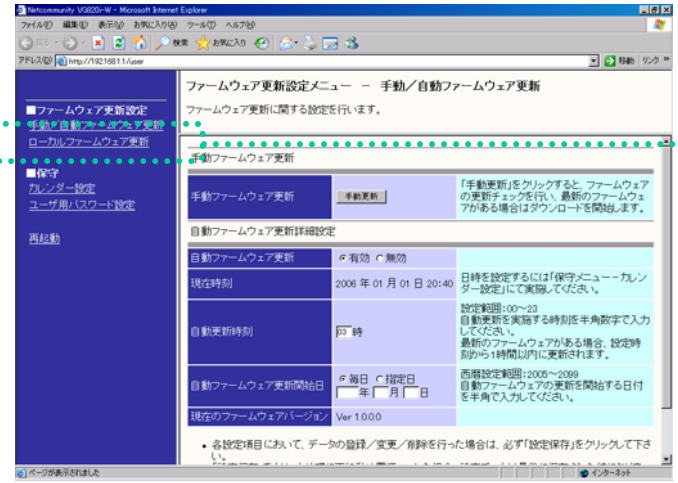


（⑥-1）
Webブラウザを起動し、アドレスを入力する欄に次のように入力します。
http://192.168.1.1/user

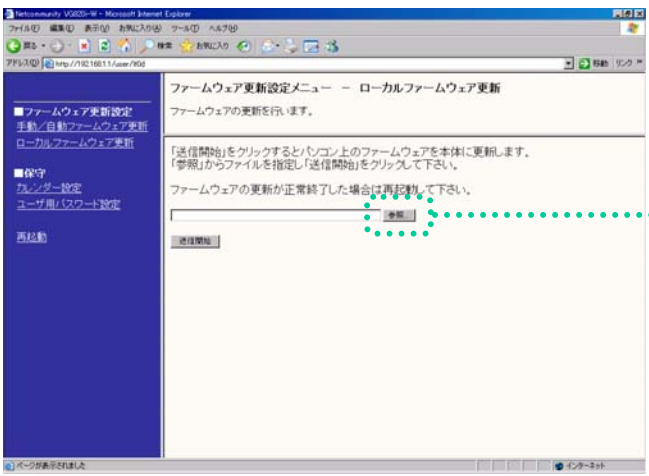


（⑥-2）
『パスワード』にお客さまが設定されたパスワードを入力し、『OK』をクリックします。

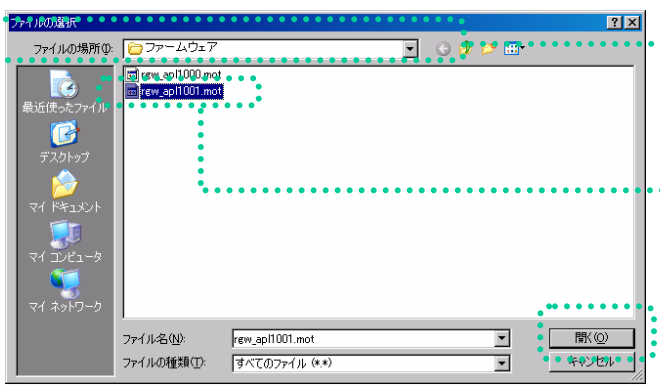
（注意）
●『ユーザ名』は空欄のままにしてください。
●パスワードの初期値は「user」です。



（⑥-3）
『ローカルファームウェア更新』をクリックします。



（⑥-4）
『参照』をクリックします。

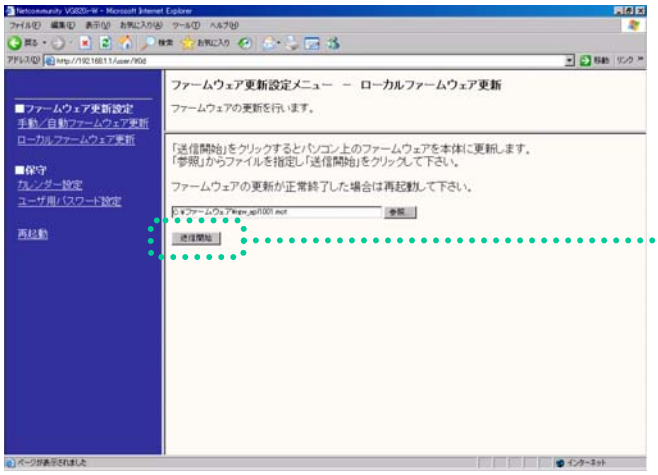


（⑥-5）
（②-4）でメモしたフォルダを選択します。

（⑥-6）
（②-5）でメモしたファイルを選択します。

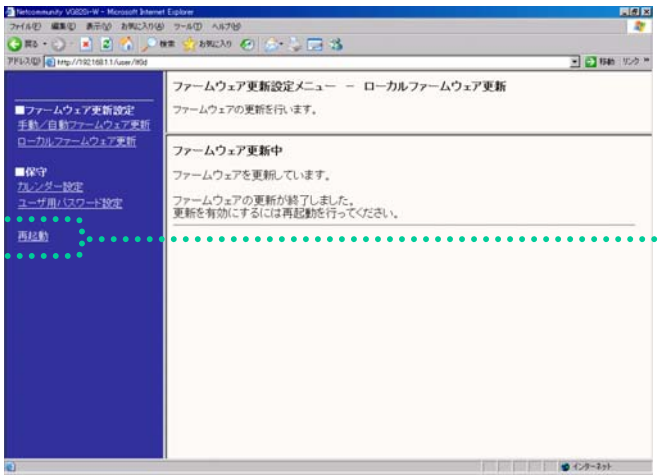
（⑥-7）
『開く』をクリックします。

（注意）
左図の表示内容は、ファームウェアの保存場所やバージョンによって、実際と異なる場合があります。

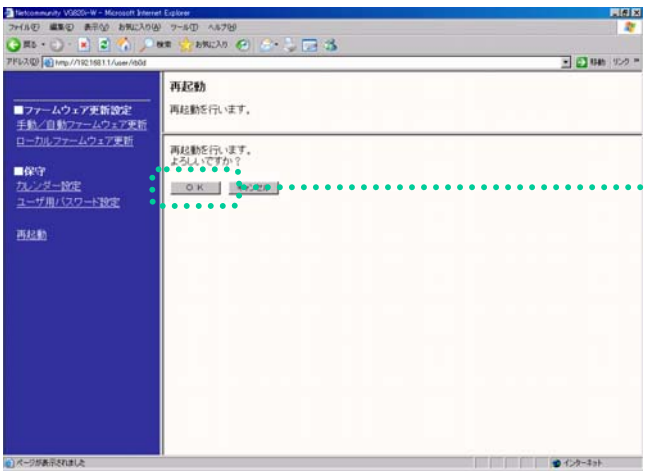


（⑥-8）
『送信開始』をクリックします。

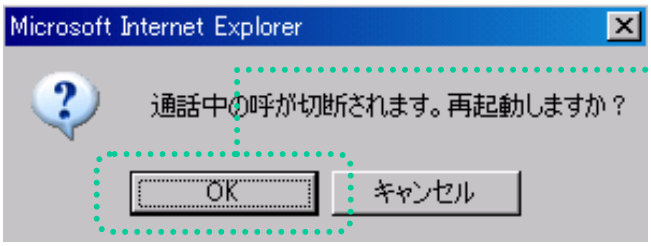
（注意）
ファームウェアの送信中は、ひかり電話オフィスタイプ対応VoIPアダプタ（VG）の「INIT（赤）」ランプが点滅します。



（⑥-9）
「ファームウェアの更新が終了しました。更新を有効にするには再起動を行ってください。」と表示されたら、『再起動』をクリックします。

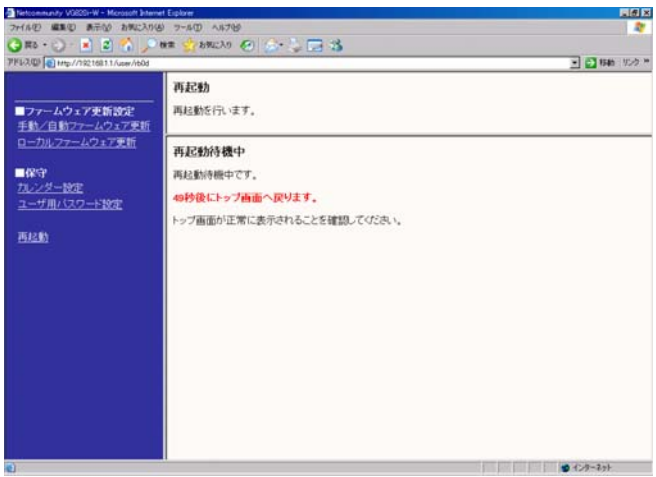


（⑥-10）
「再起動を行います。よろしいですか？」と表示されたら、『OK』をクリックします。

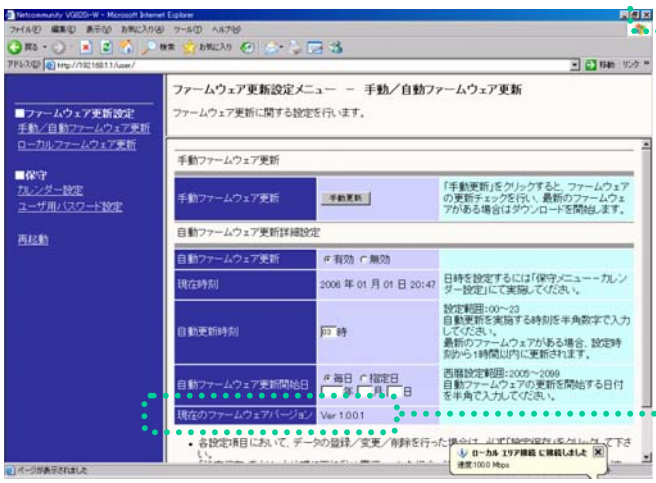


（⑥-11）
「通話中の呼が切断されます。
再起動しますか？」と表示されたら、『OK』をクリックします。

（注意）
●再起動中は、ひかり電話オフィスタイプをご利用いただけません。
●再起動中は、ひかり電話オフィスタイプ対応VoIPアダプタ（VG）の電源OFFは、故障の原因となりますので絶対にしないでください。



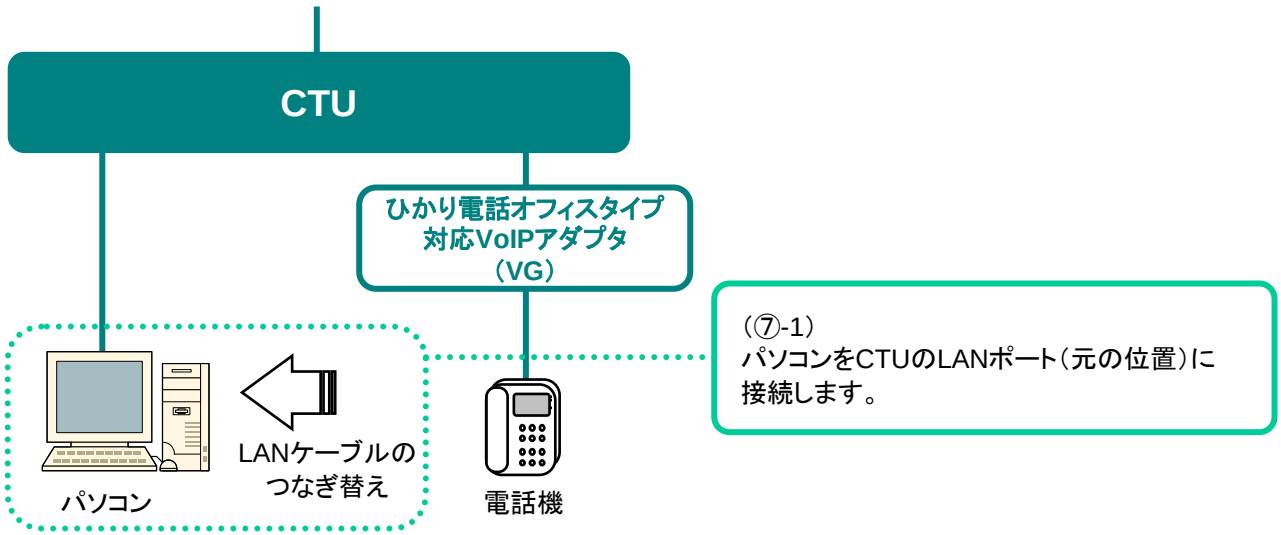
（⑥-12）
再起動中は左のような画面が表示されます。
しばらくお待ちください。



（⑥-13）
再起動が終了すると、左のような画面が表示されます。『現在のファームウェアのバージョン』欄に、（②-3）でメモしたのと同じバージョン情報が表示されていることを確認します。
確認後、Webブラウザの「×」ボタンをクリックします。

（例）
左の場合、バージョン情報は「1.0.0.1」となります。

⑦　パソコンをCTUのLANポート（元の位置）に接続する。



操作手順⑤でパソコンの設定を変更していない場合、ひかり電話オフィスタイプ対応VoIPアダプタ（VG）のバージョンアップは、以上で終了です。

操作手順⑤でパソコンの設定を変更した場合、引き続き、操作手順⑧を行って、パソコンの設定を元に戻します。

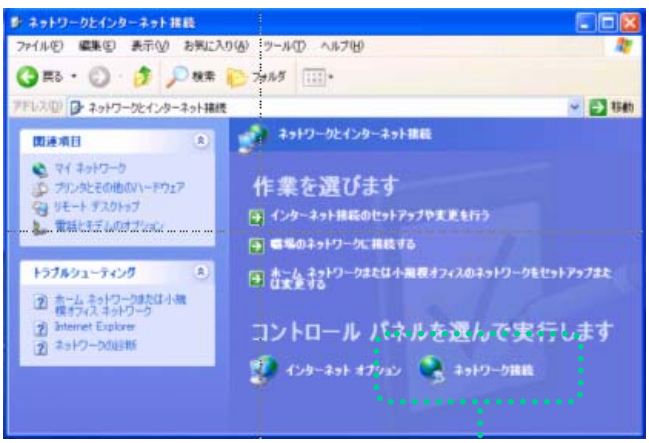
⑧ ⑤で変更したパソコンの設定を元に戻す。（⑤で変更した場合のみ実施）

Ⅰ．（⑤-1）～（⑤-7）でパソコンのIPアドレス等の設定を変更した場合、（⑧-1）～（⑧-7）の操作を行ってパソコンの設定を元に戻します。

Ⅱ．（⑤-8）～（⑤-10）でパソコンのダイヤル接続の設定を変更した場合、（⑧-8）～（⑧-10）の操作を行ってパソコンの設定を元に戻します。

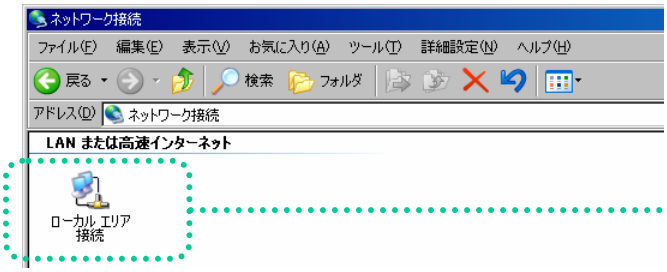
●（⑧-1）～（⑧-10）の操作手順および画面表示は、Windows XPの場合です。「コンピュータの管理者」（または同等の権限を持つユーザ）でパソコンにログオンしてから、（⑧-1）～（⑧-10）の操作を行ってください。

●Windows XP以外のOSをお使いの場合、本紙と「Netcommunity　VG420/820　取扱説明書」の「第3章」を参考に、パソコンの設定を元に戻してください。



（⑧-1）
『スタート』－『コントロールパネル』を選択し、『ネットワークとインターネット接続』をクリックします。

（⑧-2）
『ネットワーク接続』をクリックします。



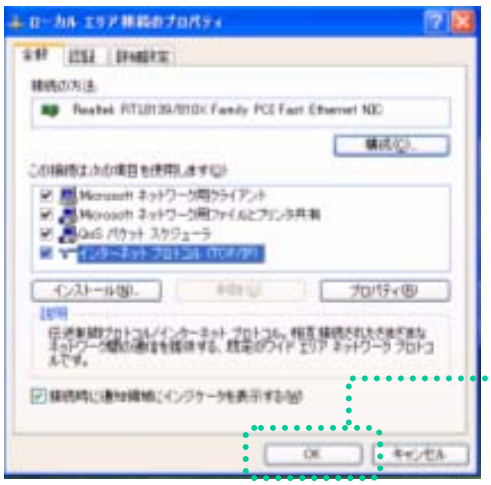
（⑧-3）
『ローカルエリア接続』を右クリックし、
『プロパティ』をクリックします。

（⑧-4）
「全般」の画面で『インターネットプロトコル（TCP/IP）』を選択し、『プロパティ』をクリックします。

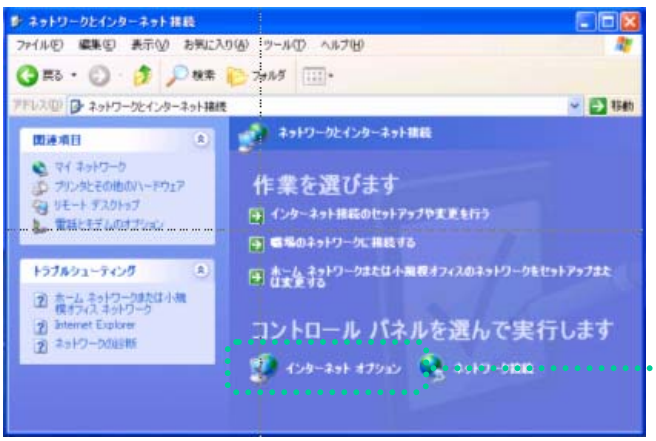
（⑧-5）
『次のIPアドレスを使う』や『次のDNSサーバーのアドレスを使う』を選択し、（⑤-5）でメモした設定内容を入力します。

（注意）
左図は一例です。

（⑧-6）
『OK』をクリックします。

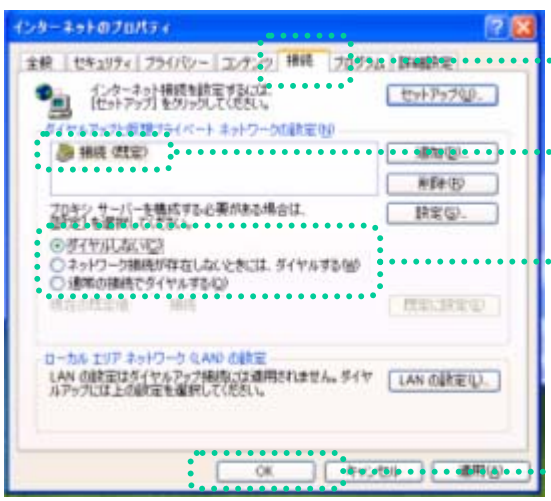


（⑧-7）『OK』ボタンをクリックします。



（⑧-8）
次に『スタート』―『コントロールパネル』を選択し、『ネットワークとインターネット接続』をクリックします。

（⑧-9）
『インターネットオプション』をクリックします。



（⑧-10）
『接続』タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合、（⑤-10）でメモした内容に設定し、『OK』をクリックします。

（注意）
リストがない場合や、元々『ダイヤルしない』が選択されていた場合は、そのまま『OK』をクリックします。

以上で全ての操作が終了です。